

なか うみ い もの 中海の生き物

日本海と境水道でつながり、塩分の濃さが海水の半分で海の環境に近い中海。宍道湖よりも海の生き物が多く、日本海と行き来している生き物もたくさんいるのが特徴。水温が高くなる夏、低水温になる真冬は、日本海に出る魚もいます。

なか うみ しょくたく あ い もの 中海でとれ、食卓に上がる生き物



アカエイ



カタクチイワシ



コノシロ



サツパ



スズキ



サルボウガイ



ヒイラギ



ボラ

なか うみ るい う 中海はハゼ類が生まれるところ

マハゼ・ビリンゴ・ニクハゼといった宍道湖・中海でよく見られるハゼ類は、中海で産卵します。中でも釣りによくとれるマハゼは、中海で生まれてから境水道を通過して日本海に出て、大きくなってからまた宍道湖・中海にもどってきます。



マハゼ



ビリンゴ



ニクハゼ